

この度は GHD キーをお買求め戴き、誠に有難う御座いました

R13.04.06

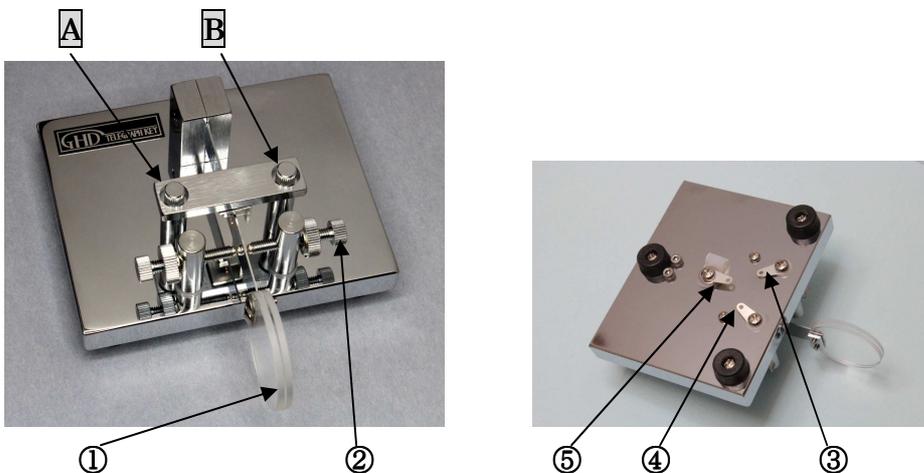
● 特徴

- ① 板バネを使用していますので、複式キーとして使用した時に ツマミを左右に振り 接点がメイク(ON 時)した時 板バネ 特有の “しなり” が有りますので 次の符号の キッカケになり 大変に操作しやすい キーです
- ② 通常このタイプのキーは ツマミを弾いた時に “ビョーン” と何時までも レバーが振動し その為に符号の 濁りの原因にもなります、 このキーは 独自のフェルトのダンパーを 装備していますので この 不快な動きが有りません
- ③ ベースは鏡面研磨後硬質クロームメッキにパーツはヘアライン加工後硬質クムメッキ仕上がりになっております

● お手入れ

ベース(クロームメツ)の指紋等の汚れは 軽く息をかけティッシュペーパーで軽く拭き取って下さい

● 調整手順



- 1 ツマミ①を左から右へ押した時のストローク(遊び)をネジ②で合わせます
- 2 ツマミを右から左へ押した時も同様に合わせます(キーの構造は左右対称です)
- 3 ネジ **A** 及び **B** でダンパーの効き具合を調整出来ます、ツマミを弾いた時の “ビョーン” とならないように **A** と **B** を調整します、ネジを時計回りにまわすと 効きが大きくなります、効きすぎると ツマミを離したときに 中心の位置まで戻らなくなります 効き過ぎないようにして下さい

● 配線について

- 1 シングルレバーのパドルとして使う時は 2 芯のシールド線を御用意下さい
- 2 シールド線(撚り線、コモン) を⑤に半田付けします
- 3 通常の右手操作時は③が短点(ドット)になります、④が長点(ダッシュ)になります
- 4 複式キーとして使う時は ④と③をショート(ジャンパー)して下さい、この場合は単芯シールド線で OK です
- 5 複式キーとして使う時、リグは縦振りキーの設定にします

(弊社 HP の動画 ”モールス通信入門” 第 6 章の最後に複式キーの使い方の実演が有ります)

・改良の為デザイン 仕様等が変更になる事があります、

・エレキーとして使う時は別にキーヤー(符号発生器)が必要です、最近のリグには殆ど内蔵されていますが内蔵されてなかったり、 使い勝手をもっと良くするには弊社のメモリーキーヤー **GK509A** のご使用をお勧めします、符号の記録 再生もでき大変に便利です

株式会社 GHD キー

〒981-3326 宮城県黒川郡富谷町明石字下向田 24-14

Tel 022-779-0681

Fax 022-779-0682

www.ghdkey.co.jp